

# 数直線の図を使って考えてみよう

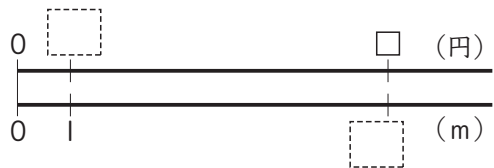
5年 \_\_\_組 \_\_\_番

めあて：数直線の図を使って□を求める式が  
どんな式になるかがわかる。

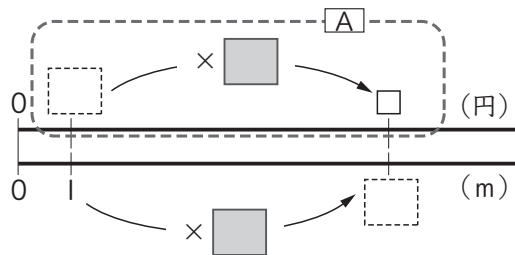
名前 \_\_\_\_\_

① 1mのねだんが60円のリボンがあります。このリボンを7m買ったときの  
代金を求める式は、 $60 \times 7$ になります。

① まず、長さとのねだんの関係を考えて、数直線の□にあてはまる数を書きます。



② 次に、求めるねだんは、1mのねだんの何倍になっているかを考えて、  
□と■にあてはまる数を書きます。

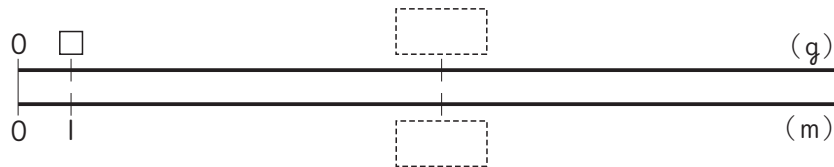


③ [A]のところを見ると、7mのねだんを求める式が \_\_\_\_\_ で  
正しいことがわかります。

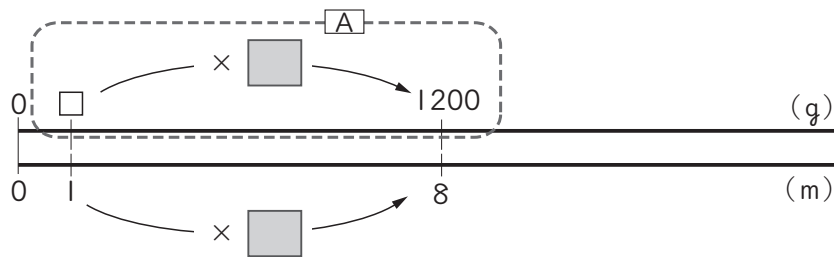
④ 7mのねだんは、 \_\_\_\_\_ です。

② 8mの重さが1200gのホースがあります。  
このホース1mの重さを求める式は、 $1200 \div 8$ になります。  
この式が正しい理由を数直線を使って説明しましょう。

① まず、長さとの重さの関係を考えて、数直線の□にあてはまる数を書きます。



② 次に、求める重さ(1mの重さ)を□gとし、8mがもとにする長さの  
何倍になっているかを考えて■にあてはまる数を書きます。



③ [A]のところを見て、□と1200の関係を表す式を書くと  
\_\_\_\_\_ となります。

④ この式から□を求める式は \_\_\_\_\_ となります。

⑤ 1mの重さは \_\_\_\_\_ です。